

## ふくふくファンド 2007 年度 助成事業報告書

2008年3月23日

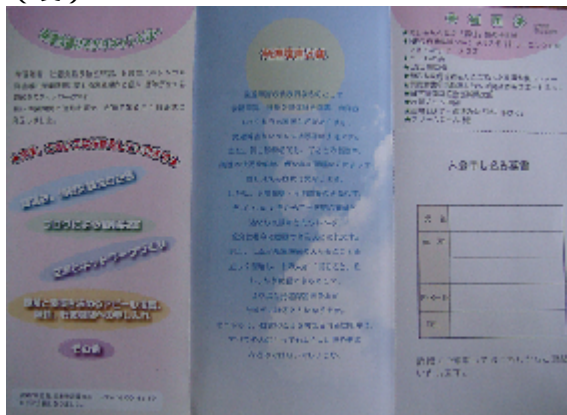
団体名（ふりがな）	はったつしえん 発達支援ひろがりネット
事業名	団体紹介パンフレット作成
連絡担当者お名前（ふりがな）	すずきともこ 鈴木朋子
担当者 電話	F A X
E-Mail	
<p>助成金を使って行った事業について、記述してください。</p> <p>発達支援ひろがりネットは、発達障害の理解を広げることと発達障害のある人とその家族の福祉が向上することを目的とした、宮城県内の発達障害に関係する団体が手をつないだネットワークとして、2007年6月に設立いたしました。設立したばかりの団体ですので、ネットワークをより広げるため、また発達障害の理解を伝えるために、団体紹介パンフレットを、ふくふくファンドの助成金をいただき、作成いたしました。</p> <p><b>【パンフレットの作成留意点】</b> どうしてもマイナスイメージが先行してしまう発達障害のイメージを、プラスのイメージに捉えられるような明るいパンフレット、シンボルマークを作成する。 支援情報・ネットワーク団体の情報を発信しているブログを広めること</p> <p><b>【企画会議】</b> 2007年10月7日・・・内容・デザインについて打ち合わせ 10月30日・・・・・・・・第1稿完成・校正 11月16日・・・・・・・・第2稿完成 12月6日・・・・・・・・印刷完成</p> <p><b>【配布先】</b> 自閉症協会宮城県支部・シエルの会・えじそんくらぶ「森杜」親の会宮城 LD児・者親の会宮城「ぼこあぼこ」・石巻アドベンチャークラブ 古川ぐつぷの会・C S C 親の会・みやぎ発達障害サポートネット 発達支援センターここねっと・フリースクール煌 アーチル・えくぼ・仙台わかものサポートステーション・ジョブカフェ・仙台 Y M C A、東北福祉大学特別支援教育研究センター・など関係機関 宮城県議会各会派・仙台市議会各会派・県教育委員会・市教育委員会など行政 青葉区市民センター・中央市民センター・N P O ブラザ・市民活動サポートセンター・宮城野区役所・</p> <p><b>【会議・他講演会など】</b> 平成 19 年 12 月 16 日 第 2 回支援情報交換会 平成 20 年 2 月 7 日 仙台市福祉計画モニタリング会議 平成 20 年 2 月 19 日 宮城県発達障害支援センター協議会・特別支援教育推進協議会合同会議</p>	

助成金を使って行った事業について、記述してください。(続き)

(表)



(裏)



今回の事業によって、団体全体の活動にどのような成果・効果がありましたか

設立したばかりの団体でありましたので、各関係機関や関係団体の皆様にネットワークの目的、発達障害についての基本理解や、ブログのアドレスなどコンパクトにまとめたものが必要でした。また構成団体の各会員にも、ネットワークの意義や役割、発達障害のとらえ方などをお伝えすることも大切なことでした。

助成金のおかげで明るく前向きなパンフレットを作成でき、各団体の会員の皆様や運営委員が自分の地域の市民センターや関係機関に配布して、発達支援ひろがりネットの紹介や発達障害への理解を広げることができました。

また、ネットワークを作ったおかげで、行政の方や議員の方々からのお問い合わせにも、まずパンフレットをお渡しできることで大変助かっております。

今回の事業を、今後どのように展開していきますか  
また、その際に必要なものは何ですか

ひろがりネットは、今後もネットワークを広げてゆかねばなりません。県内の関係団体の皆様にお話伺いに行く機会なども作っていきますので、その際に活用させていただきたいと思っております。また、新たに加わった構成団体を含めた詳しい各団体の活動内容や連絡先など、パンフレットにはさみこめるものを作る予定です。

このことにより、発達障害に対する理解や支援のひろがりを促進し、また発達障害のある人やその家族に情報が届くようにしてゆきたいと思っています。

その際に必要なものは、基盤を整備するための資金と、新たなネットワークのマンパワーです。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

### 収入の部

項目	金額（円）	内訳
ファンド助成金	100,000	
自己資金	19,685	雑収入から
合計	119,685	

### 支出の部

項目	金額（円）	内訳
印刷代	104,685	
シンボルマーク代	15,000	
合計	119,685	

宮城県労働者福祉協議会様へのメッセージをどうぞ。

昨年に続き、このファンドに助けていただいて活動を広げております。  
また、このファンドをいただいていることが、活動をほかの団体や機関に認めていただけの要因になっていることも感じます。  
今後も一歩一歩確実さをもった活動を目指してまいりますので、よろしくお願いいたします。